

る今回の區域は月見町片倉側系に至る四時管を六吋に改め大体同區間の半ば迄進又第
三小學校西端まで延びてゐる六時管を東端に延ばし仲間町駒込町、
鷹匠町、番匠町、四軒町方面にも夫々延長と改良とを行はれる之れに伴つて消火栓の増
改設は九ヶ所を算し驛前田町通りの才桙小路炮文堂前及び町役場前、白銀町田邊商店前
の三ヶ所に双口栓を据え長坂第一小學校裏及び城高女下の防火井戸と共に單口栓に改め
本町(國道)の東端篠田町地蔵堂前と第三校東端並に鷹匠町

江名の水道計画
石城郡江名町では上水道の布
設を計画し町内永崎からの導
き水を引いて水道を整備する
ことを計画する。この計画は
江名の水道計画と呼ばれ、
石城郡江名町では上水道の布
設を計画し町内永崎からの導
き水を引いて水道を整備する
ことを計画する。

たと云ふものゝ農村の多忙期に於て一時に三名を出だしたので部民は非常な狼狽と恐怖を呈してゐる

平町に於ける明年的就學児童豫定數が前年に比して六十三名を減じたことは既報したが同學齡児童は昭和三年及び同四年の出生に當るもので世帶數が増加してゐるものに反し減少は不可思議とされ續々不況が祟つた影響かと云はれてゐるが兩年度の出生數を上ぐれば左記の如く相當研究に値するものがあらうと語られてゐる

坂井鉄五郎が本県石川町生れの鈴木平三郎(30)は本年九月
一川魚の習性と...
其 漁 法
(半)
石田繁中教諭

をしないのであります。つま
り之れ等の魚類は「はや」の卵
を食餌にせんが爲めに産卵袋
を襲ふのでありますから此の
場合には臨時投網を使用して
外の魚類を取り除く事が大切
であります。

に細工して「水きれ」を良くし
ます、此れ等の空穂は河川中
「ぼや」の隠匿所である深みの
直ぐ下で浅瀬に移らうとする
所に上り空穂として使用する
のであります、之れも産卵場
を人爲的に特設してやるので
ありまして概ね「つきで」に準
じて作るのですが其異
なる主なる點を述べますと次
の通りであります

A 「つきで」に較べて流速の
緩なること（吹ひ付き弱い
こと）

B 產卵場の礫石は細かくも
のを撰定すること

C 空穂の兩側は魚類の通過
困難なる如く河底に砂礫を
若干盛り上げて川下に到る
に従ひ逐次上げ上りの魚類
を空穂に導く如く「瀬」を築
くこと

D 成るべく一方を河岸に近
く設備すること

E 空穂の入口を河底より稍
低くなる如く空穂の位置を
堀り下げるのこと

平水道の増改 延ばされる町内布設の鐵 消防栓九ヶ所の

で 増加 管ご 設

石城郡上小川村の上小川字片石田中野谷嘉男(二四)は去る三十七日脇チフスと決定し更に同村下小川字台四九荻野正之(二五)は同日赤痢と判り又同下小川字台九八市川正夫(三)は二十八日醫師の診断で脇チフスに決まり何れも即日隔離病室に収容されたが冬期に於ける該事発生は實に珍らしく

者には目下のところ炭礦が唯一の需要先きで明春から織業される昭和人絹會社などにも少數の見込みがないでもなく大体豫定通りの就職が決まりそうだと云はれてゐる。

を行つた結果は野崎昇太郎氏に決し同氏も之れを快諾され
て全町の打合せも終えた模様であるから圓滿に同氏の當選を見られるであらうと

一 日 久 徒 一 時 水 あ る 番 行
さ れ る が 積 善 師 の 生 前 は 東 都
傳 通 館 の 主 事 及 び 同 院 裏 に 幼
稚 園 を 経 營 す る 奉 仕 事 業 そ の
他 社 會 事 業 に 蒔 さ れ た る も の
多 く 一 般 か ら 其 死 を 借 ま れ て
ゐ る

當山住職鈴木積善醫院テ病氣療養中ノ處藥石効
ナク本月十七日午前九時四十分遷化致候
就テハ來ル十二月二日午後一時ヨリ如來寺ニ於
テ本葬執行仕候條此段御通知申上候也
(御遺骨十一月一日午後一時五十分半驛着)
昭和九年十一月二十五日
功蓮社德譽專阿真道積善
福島縣石城郡夏井村矢ノ目
如來弟法寺類

平町善華會
成績が良

に取敢へず旨五名
ければ百名位迄

崎方部の所要地買収に頑固な
地主の爲め困難を告げてゐる
ので布設認可を待ち尚ほ其れ
までに地主の承諾を得られぬ
場合收用法にかけてもの覺悟
をもつてゐるので今年度中には
全部の買収がつきそうだと
云はれてゐる

方に職を求める俸給なども余りなく、安くない所と云ふ有様なのでシツクリと合ふものが少なく、未だ一名も確定したものはないが、東京及び横濱方面の開拓に相當の望みを置かれ漸く推薦を終つた半數以上は賃れ口が決まるであらうと見込まれてゐる而して其の残りは十二月下旬頃から春にかけて片付

は宇米野三名、中島五名、中町六名、西町四名と稱する大体に於て部合よく選出されるた比較的率の悪い米野の三名が伊藤經太郎氏の死亡によつて二名になつた爲め公平を保ちたい一般の意向から今回之舉を見るに至つたらしく從つて醜い競争がなく前記米野の希望に正ひつ星美珠重義

取調べ中であるが被害件数は既に十數件を自白し尙ほ余罪あるものゝ如くであると

This block contains a vertical strip of a Japanese woodblock print. It depicts a figure, possibly a traveler or a deity, standing in a landscape with stylized trees and mist. The style is characteristic of Edo-period book illustrations.

語、危急打者が危急の際味方に點を得させる爲め他の打者に代る技稱群の打者だ、此章まで斯ん度減相になつた高齢翁にヒンチヒツタケが出来た。高齢翁の尊稱が出来た。

小名濱の補 無競争 候補者

佛缺選舉

三、手はあるぶ く歯はぬける耳遠くなる 目はうとくなる	三、くどくなる氣短かにな るぐちになる思ひつく事 みな古くなる	六、身にそうは き枝目がね たんぽをく ちやくしひん 孫の手
四、聞たがる死にともなか る淋しがる物食ひたがる 世話やきたがる	四、聞たがる死にともなか る淋しがる物食ひたがる 世話やきたがる	註せんぢやくとは石を方 形に切り火に焼きて布又は 綿に包み体を暖むるもの
謹啓初冬の候各位益々御清祥の 段奉大賀候、陳者弊店儀今般平町		

(四)品種は一品種に統一せず、早、中、晚を適當に配當することと、例へば一町歩を有するものであるならば、陸羽一三二號を五反歩、平井一號を三反歩、陸羽一三二號を二反歩とか、又特に冷涼の厳しいところでは關山二號を二反歩と云ふ風に安排することと云ふ。品種に迷はされることはなく、経験なき品種は輕率に採用せざることと

スペイン G.H.N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
御婦人の方には少し水を加へて
呑し上るとアロマ一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

(平2) 西村屋樂舗 (電3)

置く
次に品種の選擇及び作付品種の案配について一言述べて置いて被害地に分譲することにしたいものである。

とり出だしてよく水撰し乾燥し保在するか又は播種前ならば浸種を行ふ、尙ほ所によつては病害剝のみで被害輕微若しくは無被害の種子が得られない場合もあるらう、此の場合は出来得る限り被害少なき他の地方より立派な種子を分けて貰ふことにしたい、又今年被害少なかつた處は比の祭余分で采集して

來年種子準備上の注意

卷一百一十五

牛も豚も優良品の自慢 肉の御用命は 二二三屋 平町 田町

內科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町
電二五八番

本剤は漢法醫の方剤で鼻病の爲め種々の外用薬並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本剤の服用により快癒された喜びの體状が各地から參つて居ります

鼻の諸病に快鼻湯

有効保證

蓄膿症、慢性急性鼻炎、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨灣曲症、並に中耳炎に神効の賞讃を受く

(快鼻湯) 元水野藥局
製劑販賣元 磐城平町一丁目(電話六九四番)
振替口座仙台八八七六番

小松のはきもの
年末仕入れ新型品を
揃えました

會津桐
自製専門 小松履物店

年末から新年の御用意は
是非當店から御願致します

平町警察署通り電話六七三番

<img alt="A black and white photograph of a vintage Japanese advertisement. The top half features a stylized building with a tiled roof and a circular emblem. Below it, large vertical text reads '味經済' (Mei-Kei) and 'マヤルケン' (Mayariken). To the left, smaller text includes '油' (Oil), '山崎合會' (Yamazaki Gatharia), and '十番電話' (Telephone No. 10). The right side contains vertical text for a medical establishment: '薬局 薬剤師立番 強一' (Pharmacy, Pharmacist-in-Charge Ichi), '木村病院' (Kimura Hospital), '病室完備' (Fully equipped wards), '入院隨意' (Admission at will), and '平町新川町九一' (Hirayachi, Shinkawa-cho, No. 91).</div>